

第4回 練馬区立桜台第二保育園運營業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

平成26年6月22日(日) 午前10時～午後2時30分 開進第三中学校
出席者：学識経験者2名、有識者2名、区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

1 応募事業者プレゼンテーション

運營業務委託に応募した2事業者によるプレゼンテーションを、それぞれ40分(事業者のアピール20分・質疑応答20分)行った。

なお、桜台第二保育園の保護者14名の参観があった。

《父母の会からの質問事項に対する回答》

質問1 都市部では、どこの自治体も待機児童解消に向けて保育所の開設を行っている状況がある。そのため、保育士の確保が大変困難になっている。選定後の保育士確保の見通しについてお聞かせください。

事業者A インターネットなどを活用して、全力をあげて職員を確保したい。また、法人内の他園からの保育士の異動も含め人選していく。

事業者B ホームページやハローワークでの就職説明会、インターネット、紙媒体を通じた募集を行うほか、大学等を訪問して新規採用の営業を行い人材の確保に努める。

賞与有のフルタイム勤務、週休2日の勤務、短時間の正職員勤務など、就労形態についても、様々に用意して募集を行っている。また、法人内の近隣園からの人事異動や昇格も視野に入れている。

質問2 職員の質を高めるための研修の機会は、どの程度用意されているか。

事業者A 研修については、園をあげて積極的に取り組んでおり、先日も法人の全職員に対して、法人理念の研修を実施した。

園外研修では、経営研究懇話会主催の障害児、乳児、夜間延長などの保育研究会や東社協保育士会主催の主任部会、給食部会、保健部会の研修、区で実施する研修会に参加している。

毎年、全職員対象に園内で実施する夏季宿泊研修では、各自が自身の課題を選んで取り組んでいる。

事業者B 法人では、合同宿泊研修を実施して、保育の質の向上などを図っている。各園の園内研修では、昨年度、活動コーナーづくりの研修を行った。そのほかに、障害児、保健衛生、感染症予防などの研修を実施している。

また、救命救急講習については、全職員が必ず受講している。

質問3 保護者の要望や意見を聴く機会をどのように作るか。また、その要望や意見をどの程度、尊重するか。

事業者A 保護者との合議について、当法人は歴史的にその土壌ができています。保護者会や卒業した保護者の後援会もある。保護者から多すぎると思われるぐらい日常的に意見交換を行っている。父母と共にとという考え方で保育を行っている。

事業者B 保育参観や保育懇談会で保護者の意見を聞きながら保育を行いたいと思っている。各行事について、実施方法、日程、その他についても事前にお尋ねをし、それを生かし、参加しやすいようなかたちで実施をしたいと考えている。

保護者それぞれに保育、育児への考え方があるので、それを尊重しながら園の運営をしたい。

質問4 園長候補者と法人本部の方に質問します。保育に対する信念や考えをお聞かせください。

事業者A【園長候補者】子ども達の健やかな育ちを、職員一同が会議などの場で保育を深め、情報交換していく中で、一人ひとりの子どもの発達をつかんでいきたい。そして一番大切にしているのは、保護者や地域の方々と連携して保育園づくりをしていくことである。また、職員にとって働き甲斐のある職場を作ることに力を注いでいる。

【法人本部】当法人は、理念と事業の基本的な考え方として「5つの柱」を持っている。それを①子どもたちが安心して楽しく生活ができる場を作ること②保護者が安心して預けられるということ③職員が元気に働ける場を作ること、の3点について、それぞれの立場で考えを出し合って、乗り越えていけるよう運営を行っている。

事業者B【園長候補者】私はこれまで、専門学校の教員、認可外保育園の経営者、現法人の認可保育園の園長を経験してきた。そこで自分の役割と感じたことは、「子どもを守る」ということである。①安全に守ること②子どもの成長する環境を整えること、の2つの意味があると考えている。それが、私の保育の核になっている。

【法人本部】当法人は、抽象的ではあるが、「3つの心」を保育の基本と考えている。その当たり前のところを今の子供たちに引き継いでいけるような保育を目指している。

2 園長候補者等ヒアリング

運營業務委託に応募した2事業者に対するヒアリングを、それぞれ30分（園長候補者のアピール10分・質疑応答20分）行った。